

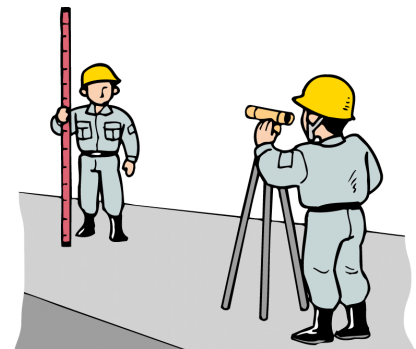
**■正誤問題** (過去に出題された選択肢) 16問

**測量に関する問題です。○×で回答して下さい。**

1. 敷地内の細部測量においては、支距測量(オフセット測量)、平板測量等を併用した。
2. 平面測量における基準点、隣地境界点及び主要な部分の測量は、多角測量(トラバース測量)により行った。
3. 高低差のある敷地の測量においては、平面測量と水準測量を併用した。
4. 見通しの良い小さな敷地の測量は、敷地内に平板を据え付け、放射法により行った。
5. 真北の測定においては、特記がなかったので、コンパスの磁針が示す方向を真北とした。
6. 平板測量は、地形によって、現場における作業能率が大きく異なる。
7. 測点上への平板の据付けは、水平・位置・方向の各条件を満たすように行う。
8. 平板測量は、簡便で迅速に作業できるが、高い精度は期待できない。
9. 放射法による平板測量は、障害物によって見通しの悪い地形に適している。
10. 平板測量においては、現場で敷地を測量しながら、同時にその敷地の平面形状を作図する。
11. 平板測量は、簡便で迅速に作業でき、高い精度が期待できる。
12. 平板測量は、巻尺、アリダード等を用いて距離や方位を測定し、現場で作図する。
13. ポールは、直径 3cm の棒で、測点上に鉛直に立てて目標とするものであり、短い距離の略測にも用いられる。
14. 平板測量では、測定の結果を直接作図していくことができる。
15. 整準とは、図板を正しく水平に設置することである。
16. 求心器は、下げ振りと組み合わせて、地上の測点と図板上の点を同一鉛直線上に合わせるための器具である。

## ■正誤問題 解答編

1. 敷地内の細部測量においては、支距測量(オフセット測量)、平板測量等を併用した。  
1. ○
2. 平面測量における基準点、隣地境界点及び主要な部分の測量は、多角測量(トラバース測量)により行った。  
2. ○
3. 高低差のある敷地の測量においては、平面測量と水準測量を併用した。  
3. ○
4. 見通しの良い小さな敷地の測量は、敷地内に平板を据え付け、放射法により行った。  
4. ○
5. 真北の測定においては、特記がなかったので、コンパスの磁針が示す方向を真北とした。  
5. × **コンパスの磁針が示す方向は磁北になります。真北ではありません。**
6. 平板測量は、地形によって、現場における作業能率が大きく異なる。  
6. ○
7. 測点上への平板の据付けは、水平・位置・方向の各条件を満たすように行う。  
7. ○
8. 平板測量は、簡便で迅速に作業できるが、高い精度は期待できない。  
8. ○



9. 放射法による平板測量は、障害物によって見通しの悪い地形に適している。

9. × **放射法は、見通しの悪い地形には適しません。**

10. 平板測量においては、現場で敷地を測量しながら、同時にその敷地の平面形状を作図する。

10. ○

11. 平板測量は、簡便で迅速に作業でき、高い精度が期待できる。

11. × **平板測量は、簡便で迅速に作業ができるが、高い精度は期待できません。**

12. 平板測量は、巻尺、アリダード等を用いて距離や方位を測定し、現場で作図する。

12. ○

13. ポールは、直径 3cm の棒で、測点上に鉛直に立てて目標とするものであり、短い距離の略測にも用いられる。

13. ○

14. 平板測量では、測定の結果を直接作図していくことができる。

14. ○

15. 整準とは、図板を正しく水平に設置することである。

15. ○

16. 求心器は、下げ振りと組み合わせて、地上の測点と図板上の点を同一鉛直線上に合わせるための器具である。

16. ○

ポールです。  
赤白は20cmの  
間隔だよ。

